

# 議会ガイド



夢と希望を抱いて

## 新入学児童 初めての教室

新年度スタート！ 4月7日(金)には管内小中学校の入学式が一斉に行われました。

今年度の新入生は、中里小28名、武田小17名、薄市小8名、小泊小13名、中里中56名、小泊中学校19名で、緊張しながらも皆さん元気に登校していました!!

### 第1回定例会 (平成29年3月)

目次	■ 第1回定例会	……………	P 2
	■ 予算特別委員会	……………	P 4
	■ 一般質問	……………	P 5
	■ 活動報告	……………	P 9
	■ 議会の動き・委員会だより	……………	P 10

# 特養老人ホーム静和園事業を廃止

## 4月から民営化で、さらにサービス向上を目指す

### 第1回定例会

3月2日～10日

平成29年第一回定例会が、3月2日から10日までの日程で開かれました。  
 7日には一般質問が行われ、荒関富雄議員、山田光春議員、川山光則議員、鈴木長一郎議員の4名が、町側の答弁を求めました。  
 8日と9日には、予算特別委員会(委員長沖崎勲、副委員長秋元隆)が行われ、平成29年度町一般会計及び各特別会計の予算の審議が行われました。  
 最終日の10日には、質疑、討論、採決が行われ、条例改正や一般会計補正予算など議案30件、報告1件、発議3件を、いずれも全会一致で承認、可決、同意しました。

#### 補正予算

##### ■一般会計補正予算第10号

主な補正額(歳出)は次のとおり。

##### □総務費

- ・奥津軽いまべつ駅・津軽中里駅間バス運行協議会負担金 172万9千円
- ・生活交通確保維持事業補助金 197万3千円
- ・財政調整基金積立金 1億6288万8千円
- ・通知・個人番号カード関連事務委任交付金 182万3千円

##### □民生費

- ・広域入所委託料 112万6千円
- ・認定こども園運営事業に係る扶助費 159万4千円

##### □衛生費

- ・国民健康保険特別会計繰出金 (事業勘定) 702万4千円 (診療施設勘定)

##### □土木費

- ・町道除雪業務委託料 1500万円

##### ■国民健康保険特別会計補正予算第5号

- ・事業勘定は予算総額に2823万1千円追加するもの。主な歳出は、一般被保険者療養給付費 1500万円
- ・直営診療施設勘定繰出金 1500万円



4月から民営化となりサービス向上を目指す静和園

697万4千円

1140万7千円

診療施設勘定は予算総額から248万円を減額するもの。

##### ■介護保険事業特別会計補正予算第4号

予算総額から3806万2千円を減額するもの。

##### ■農業集落排水事業特別会計補正予算第2号

予算総額から26万9千円を減額するもの。

##### ■特別養護老人ホーム静和園事業特別会計補正予算第4号

平成29年3月31日で静和園事業を廃止することから、同会計に属する剰余金の一般会計繰出金を主な歳出として、予算総額に4765万8千円を追加するもの。

##### ■後期高齢者医療特別会計補正予算第3号

予算総額から236万円を減額するもの。

## 条例関係

### ■町課設置条例の一部改正

平成29年3月31日で静和園事業を廃止するため、条例を廃止するもの。

### ■町議会委員会条例の一部改正

## 指定管理

### ■町職員定数条例の一部改正

組織機構の見直しに伴い、条例の一部を改めるもの。

### ■町職員の給与に関する条例の一部改正

平成29年度に支給する通勤手当に関する特例措置について、条文を整備するもの。

### ■町地域包括支援センター設置条例の一部改正

中里保健センター職員が新庁舎に異動したことに伴い、事務所の位置を改めるもの。

### ■町特別養護老人ホーム静和園事業特別会計条例の廃止

### ■町静和園運営調整基金条例の廃止

平成29年3月31日で静和園事業を廃止するため、条例を廃止するもの。

### ■徐福の里物産品直売所

管理者：小泊観光協会  
期間：3年間

### ■折腰内オートキャンプ場

管理者：(株)小泊うみどりーむ 振興社  
期間：3年間

### ■すくすくこどもり館

管理者：(株)小泊うみどりーむ 振興社  
期間：3年間

### ■折腰内交流施設

管理者：海峽小泊  
期間：3年間

### ■基幹集落センター

管理者：小泊漁業協同組合  
期間：3年間

### ■高齢者生活福祉センター

管理者：社会福祉法人 中泊町社会福祉協議会  
期間：3年間

### ■中里職業能力開発校

管理者：職業訓練法人 中里職業訓練協会  
期間：3年間

## 専決処分

### ■青森県市町村総合事務組合規約の変更

本組合を組織する地方公共団体数の減少に伴い、規約の一部を変更するもの。

## その他

### ■町有地の処分

処分する財産 旧役場跡地 6227.28㎡

### ■契約相手

社会福祉法人 奥津軽会  
売却価格 1300万円 (建物解体撤去費用含む)

### ■町有財産の無償貸付

町特別養護老人ホーム静和園の民営化による無償貸付  
貸付相手 社会福祉法人 奥津軽会

### ■用途：新施設移転開設まで特別養護老人ホームとして使用

用途：新施設移転開設まで特別養護老人ホームとして使用

### ■西北五環境整備事務組合規約の変更

本組合議会議員の選出方法の見直しに伴い、規約の一部を変更するもの。

## 発議

### ■町議会会議規則の一部改正について

町議会採決システム導入に伴い、規則の一部を改正するもの。

### ■議員派遣について

町議会会議規則の規定に

より議員を派遣するもの。

### ■地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現するよう関係行政庁に対し意見書を提出するもの。



新庁舎移転に伴い売却処分した中泊町役場旧庁舎



沖崎委員長

3月8日から9日の2日間、全議員をもって構成する予算特別委員会(委員長沖崎勲、副委員長秋元隆)が開かれ慎重に審査されました。10日には、採決が行われ、いずれも全会一致で認定されました。

# 予算特別委員会

3月8日・9日

平成29年度一般会計当初予算  
71億1200万円でスタート

■中泊町全会計予算額一覧(単位:千円・%)

会 計	本年度予算額	前年度予算額	増 減 比 較		
			増減額	増減率	
一般会計	7,112,000	8,959,000	△1,847,000	△20.6	
国民健康保険 (事業勘定)	2,444,356	2,430,541	13,815	0.6	
国民健康保険 (施設勘定)	153,551	160,209	△6,658	△4.2	
介護保険事業	1,620,751	1,631,779	△11,028	△0.7	
農業集落排水事業	42,243	40,023	2,220	5.6	
漁業集落排水事業	22,489	22,046	443	2.0	
特別養護老人ホーム静和園事業	0	372,009	△372,009	民間へ移行	
後期高齢者医療	262,433	261,952	481	0.2	
水道事業	収益の収入	347,012	381,211	△34,199	9.0
	収益的支出	318,418	318,384	34	0.01
	資本的支出	154,896	148,418	6,478	4.4

## 主な当初予算 (一般会計分)

- ◇**総務費**
  - 公会計整備事業 945万1千円
  - ふるさと納税事業 3700万円
  - 地域生活交通再生促進事業 338万7千円
  - 国内交流事業 217万円
- ◇**民生費**
  - 障害者自立支援給付事業 2億7301万1千円
  - 認定子ども園運営事業 2億7342万2千円
- ◇**衛生費**
  - 子ども医療費給付事業 2386万2千円
- ◇**農林水産業費**
  - 乳幼児・子どもインフルエンザ予防接種事業 504万円
  - 小泊不燃物処理場適正化対策工事費 2億370万3千円
  - 農地中間管理機構事業 387万5千円
  - 青森県産地パワーアップ事業 1203万6千円
  - 経営体育成支援事業 3000万円
  - 農業次世代人材投資事業 712万5千円
  - 多目的機能支払事業 1億3644万7千円
  - 県営十三湖地区経営体育成基盤整備事業 1億2800万円
  - 海岸漂着物回収委託料 1001万7千円
  - ご当地グルメ開発事業 209万2千円
- ◇**土木費**
  - 町道354号線融雪溝整備事業 6060万円
  - 公営住宅建設事業 4億589万8千円
- ◇**教育費**
  - 小泊中学校校舍改築事業 3821万9千円
- ◇**消防費**
  - 消防団可搬ポンプ購入事業 237万6千円
- ◇**公債費**
  - 長期債元金 10億4381万7千円
  - 長期債利子 8827万4千円
- ◇**商工費**
  - 北海道新幹線開業対策事業 294万2千円
- おもてなし推進事業 449万4千円
- 若手・中高生連携地域活性化事業 274万円

# 一般質問

- ・ 空き家対策について(固定資産税の見直しは、いつ行うのか)
- ・ 広域連携について(西北五管内連携の具体的な施策を示せ)



荒関富雄議員

Q

国においては、平成27年度に空き家対策等に関する特別措置法を制定し、市町村が行う空き家等対策計画に基づく実施に要する費用について、国が必要な措置を講ずるものと規定している。

空き家対策推進の観点から、建物を取り壊した際の固定資産税上の優遇措置を講じることができないものか。

A

■小野税務課長

固定資産税の土地の課税標準の特例については、国の地方税法並びに中泊町税条例の規定により、小規模住宅用地に建物を建てた場合は、固定資産税が要件によつては6分の1または3分の1という特例が受けられることになっている。

逆に、小規模住宅を取り壊した場合は、特例が受けられなくなるので、翌年度以降の固定資産税においては6倍または3倍となり、元の課税標準に戻ることから、結果的に固定資産税が高くなる。

空き家の取り壊しを推進する施策としては矛盾しているが、現在の国の地方税法の実態であるため、ご理解いただきたい。

Q

つがる西北五広域連合

はじめ、西北五管内においては、病院、消防、環境衛生、教育など、色々な面で広域的な連携事業を行つてきている。

今後ますます重要視されていくと思われるため、計画されている広域的な連携事業があれば、お示し願いたい。

A

■飯塚総務課長

広域連携については、五所川原市を中心市とし、人口定住に必要な都市機能及び生活機能を充実させ、住民が安心して暮らし続けることができる地域形成を目的として、昨年3月、2市4町で五所川原圏域定住自立圏形成協定を締結している。

具体的な施策としては、医療、福祉、教育、産業や消防などの分野ごとに、現在担当者レベルで協議検討しているところである。

消防署の老朽化問題や圏域内の人口減少などを踏まえた施設統合の検討を進めていく予定である。

これから計画が固まつていく中で、議会にも説明していくことになるため、ご理解いただきたい。



老朽化がすすむ「中里消防署」

## 傍聴席は、あなたの席です！！

中泊町議会 平成29年 第2回定例会は、6月上旬です。  
会議は公開されており、どなたでも議会の傍聴ができます。

平成29年第1回定例会の傍聴者は、33名でした。

皆さんの傍聴をお待ちしております。

一度、町議会へ足を運んで、自分の目でご覧下さい

・ 公共施設の管理委託について(管理委託の状況と問題点は)  
 ・ 年次有給休暇の使用状況について  
 (休暇の計画的使用や超過勤務の適正化の指導は)



山田光春議員

Q

町行革大綱においては、施設の効率的な運営と経費の節減を図るため、公共施設の管理については積極的に委託を推進していくこととしているが、管理委託の現状と実績を明らかにしていただきたい。また、パルナスの施設管理において、一括でアクトプランに管理委託できないものか。

A

■横野財政課長

当町で指定管理制度を活用し、管理委託を行っている公共施設は、各町内の集会施設が20施設、老人福祉センター、折腰内オートキャンプ場などの施設が19施設、合計39施設において指定管理者制度を活用した管理委託を行っている。

その他、折腰内海水場、マリンパーク、ライオン岩公園などについては、契約に基づいて管理委託を行っている状況にある。パルナスの一括管理については、博物館や図書館も設置してあることから、専門的な知識を得た職員の配置が必要である。今後、人員配置計画に基づいて指定管理者制度を活用する方向で調査、検討していきたい。

Q

本町の職員の年次休暇の取得状況の実態についてお知らせ願いたい。また、自治省行政局から通知されている年次有給休暇の計画的使用の促進及び超過勤務の適正化について、どのような指導がなされているのか。

A

■飯塚総務課長

平成28年の職員の年次休暇の使用状況は、全職員の平均取得日数が11.5日で、年間20日の付与と考えれば57.5%の取得率となっている。

超過勤務の代休取得率は、全職員の平均約4.5日に対し、約3.5日の取得、率にして76.6%となっている。

代休取得については、起算日の前4週間、後8週間と期間が規則で定められ、今年2月の定期監査においては、未消化とまらないよう指導を受けている。

新年度4月には、所属長が適切に振替日を指定し、所属職員の代休未消化がないよう、代休等の取扱要領を定め、改善していくこととしている。

今後も休みやすい環境の改善に努めていくため、ご理解いただきたい。



町が直営管理している「パルナス」

一般質問はインターネット・ライブ中継が  
 ご覧になれます。

パルナス・小泊支所・すくすくしたまえ館のロビーにも  
 テレビ中継されています。ぜひご利用ください。

HPアドレス <http://www.town.nakadomari.lg.jp/index.cfm>



# ・教育行政について (小泊中学校改築計画を新町長、新教育長のもと再検討すべきでは)

## ・地域交通について(中里・今別間のバスについて)



川山光則議員

Q

新年度予算の中に小泊中学校改築事業の設計費として3800万円ほど計上されている。

加藤教育長の退職、小野町長の勇退に伴い、4月には新町長、新教育長が誕生することから、計画自体を新執行部のもと見直しすべきと思うが、関係参与の考えは。

A

■外崎総務学務課長

小泊中学校の校舎は、平成20年度の耐震診断調

査で構造耐震値が、地震の震動や衝撃で倒壊または崩壊する危険性があるとされる基準値に該当したため、早急な対策が求められている。



改築の検討が議論されている「小泊中学校」

教育委員会では、校舎の建て替えについて、平成25年度から保護者や地域住民の方々を対象としたアンケート調査を数回にわたり実施したが、いづれも校舎改築による小泊中学校単独での存続希望との結果となっている。現在、教育委員会では、

Q

これらの結果を尊重し、当初計画どおり、来年度は実施設計、30年度には工事着工、31年度の完成を目指して進めている。しかし、町立学校の設置者は、あくまでも町長であるため、予算執行までの準備期間などを勘案すれば、計画を見直すことは十分可能と思われる。

先般の東奥日報には、中里・今別間のバスが一日4往復運行し、1便あたりの利用者数は平均0.89人と掲載されている。

A

■飯塚総務課長

中里駅、奥津軽いまべ

運行反対の立場ではないが、小泊も中泊の一員であるため、是非とも一日1便、片道でもいいので小泊に回していただけなものか。

つ駅間の連絡バスの利用状況ですが、今年1月末までの利用者数は2207人で、うち中里行きは乗客は、約61%の1356人である。ご質問のとおり、1便平均1人に満たない乗車人員であり、これは当初見込んだ1便あたり4人を大きく下回るものである。

この路線は町の観光振興上からも、まず新幹線駅から当町までの2次交通を確保しておくことが必要と判断し、関係団体で進めてきたものである。今年度は実証運行であり、新年度は国の補助、経費2分の1を受けて本格運行へ移行し、引き続き連携して取り組むことで合意している。

新年度からは利用促進のためのPR等をさらに強化し、今年度の利用状況をもとに、季節的なことや観光客の動向などを分析しながら、改善対策を検討していくことにな

ると思われる。

しかし、この連絡バスは、生活路線としての位置づけであり、国の許可を受けて運行経路などを決めているため、1便だけ小泊というのは難しい課題である。

次の対策としては、関係市町村で津軽半島全体の広域的な観光振興を進め、当町への観光客の増加を図っていく対策が必要と考えている。



津軽半島に観光客を運ぶ「新幹線」

# ・現在の指名入札のあり方について (建築業協会の会員の方々が落札しているのではないか)



鈴木長一郎議員

Q

ある方から聞いた話であるが、息子が当町の職員で、その父親が建築協会の役員をしているというところで、親子間で入札に関する情報が流れていないのかどうか、また、そのようなことを町ではどのように思っているのか答弁いただきたい。

A

■横野財政課長

町では、地方自治法施行令及び町の財務規則に

より、特別な場合を除き、入札を執行している。また、工事現場等の距離が近く、現場に関する知識などを有していることから、契約の確実な履行が期待できることや、地元の経済の活性化に繋がることから、特殊な場合を除き、指名競争入札で対応している。

鈴木議員ご質問の情報漏洩等については、地方公務員法第34条に守秘義務が定められ、職員は職務上知り得た情報を漏らしてはならないことになっていて。

小野町長も常日ごろ、そのような守秘義務を含めた公務員のモラルについて厳しく指導しているところである。

このようなことから、たとえ親子であっても、きちんと情報管理は守られているものと思われる。

## 活動報告

### 新庁舎建設工事竣工式



平成28年12月12日、新庁舎建設工事竣工式に臨む中泊町議会議員団



## 活動報告

### 新庁舎開庁・落成記念式典・祝賀会

役場新庁舎が完成し、1月4日(水)から業務が開始されました。

新庁舎開庁式には、私ども議員団も参列し、町議会を代表して兵庫議長がテープカットを行い、新たな幕開けとなりました。

1月15日(日)には、落成記念式典・祝賀会が開催され、町民や関係者の皆様と共に新庁舎の完成を祝いました。

また、当日の式典には当町と交流のある沖縄県久米島町から大田町長・幸地議長もかけつけてくださり、ふれあいセンターにおいて交流会をおこないました。

#### 新庁舎完成



#### 1/4 開庁式



#### 1/15 落成記念式典



#### 落成祝賀会



兵庫議長による乾杯の音頭

#### 久米島町との交流会



久米島町・幸地議長あいさつ

3 月

- 25日 中里自衛隊父兄会定期総会
- 16日 中泊町青少年問題協議会
- 14日 県道三厩小泊線整備促進に伴う両町交流会
- 10日 単行案審議・採決・閉会
- 9日 予算特別委員会(一般会計)
- 8日 予算特別委員会(特別会計)
- 7日 定例会一般質問
- 2日 第1回定例会開会日

2 月

- 24日 県町村議会議長会定期総会
- 22日 議会運営委員会
- 19日 中泊町教育文化賞・スポーツ賞授与式
- 15日 民生文教常任委員協議会
- 11日 津軽・東京吹雪の会総会(東京)
- 3日 中泊町子ども議会

1 月

- 4日 新庁舎開庁式
- 15日 中泊町役場庁舎落成記念式典
- 16日 西北津軽郡町議会議長会議長・事務局長会議
- 27日 第1回中泊町議会臨時会

第1回総務企画常任委員会

(秋田 博 副委員長) 2月15日(水)

〈案 件〉

- 地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

【審査結果】

現在、全国の地方議会が抱える問題のひとつとして、議員のなり手不足が深刻化しており、今後の議会を担う幅広い層の世代から議員を志す新たな人材確保につなげるためにも地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を進めるべきことから、趣旨を認め採択すべきものと決定。



総務企画常任委員会の様子

第1回議会運営委員会

(長利 司 委員長) 2月22日(水)

〈案 件〉

- 平成29年第1回会定例会会期日程及び議会運営について
- 予算特別委員会の組織及び委員会日程について
- 提出議案について
- 陳情書等の委員会審査結果について
- 新規に受理した陳情等の取り扱いについて
- その他



議会運営委員会の様子